

様式 A 実践英語 II (長井(克))

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	実践英語 II Practical English II		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・外国語	授業形態・学期	講義・前期
	対象学生	MS-2・EC-2	必修・選択必修・ 選択の別	選択
教官に かかわ る情報	担当教官・所属	長井克己・一般科目		
	研究室等の連絡先	研究室：長井(克) 管理・一般科目棟2階 (内線：8188) E-mail：kats@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	言語学/ 英語学・外国語教育	学習・教育目標	(F)
	授業の概要	本専攻科修了後に必要となる英語によるコミュニケーション能力を高めるため、異文化理解をテーマとしたリスニングとスピーキング演習を行い、実践的な英語力向上を目指す。		
	学習目的	相手の意見を理解し、自信を持って自分の意見を述べることが英語でできるようになる。通常の会話であれば要点理解と応答に支障がなく、ともかく自己の意思を伝えられる(TOEIC 470-550)程度を目指す。		
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語で読んだことについて、自分の意見を英語で述べるができる。</li> <li>2. 諸外国の文化に関して英語で質問をし、自国の文化や自分の経験を英語で発表することができる。</li> <li>3. 英米だけでなく、さまざまな国で用いられている英語を聞き、その内容を理解することができる。</li> <li>4. 日常業務に必要な英語の表現を適切に利用できる。</li> </ol>		
履修に かかわ る情報 と履修 のアド バイス	履修上の注意	なし		
	技術者教育プログラ ムとの関連	本科目が主体とする学習・教育目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成」である。		
	履修のアドバイス	1年の時に実践英語 I を取っていないなくても構わない。		
基礎・ 関連科 目にか かわる 情報	基礎科目	英語 IA (1年), 英語 IB (1) 英語 IIA (2年), 英語 IIB (2), 英語 III (3), 創造英語 (4), 選択英語 I (4), 選択英語 II (5) など		
	関連科目	実践英語 I(専攻科1年), 技術英語購読 (1)		

授業にかかわる情報																																	
授業の方法	<p>1 週 2 単位時間マルチメディア室で授業を行う。教科書のリスニングとリーディング教材をテーマとして取り上げ、ペアワークの練習の後に、全員が自分の意見を英語で述べる。</p> <p>英語で文献を読み、英語で論文を書いたら、次はそれを英語で発表できるのが「できるエンジニア」である。言語の本質である「聞き」「話す」ことに重点を置き、発音やリスニングの練習も定期的に行う。</p>																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開講週</th> <th>内容 [項目] (指示事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 週</td> <td>● 前期ガイダンス</td> </tr> <tr> <td>2 週</td> <td>● Identity [自分自身]</td> </tr> <tr> <td>3 週</td> <td>● Values [判断の基準]</td> </tr> <tr> <td>4 週</td> <td>● Culture Shock [異文化の体験]</td> </tr> <tr> <td>5 週</td> <td>● Culture in Language [言語は文化を規定するか]</td> </tr> <tr> <td>6 週</td> <td>● Body Language and Customs [ノンバーバル・コミュニケーション]</td> </tr> <tr> <td>7 週</td> <td>● Individualism [個人主義とは]</td> </tr> <tr> <td>8 週</td> <td>● Politeness [礼節とは]</td> </tr> <tr> <td>9 週</td> <td>● Communication Styles [さまざまな自己表現]</td> </tr> <tr> <td>10 週</td> <td>● Gender and Culture [男女の差]</td> </tr> <tr> <td>11 週</td> <td>● Diversity [多様性を認める]</td> </tr> <tr> <td>12 週</td> <td>● Social Change [社会の変化]</td> </tr> <tr> <td>13 週</td> <td>● Global Community [地球市民という発想]</td> </tr> <tr> <td>14 週</td> <td>● 筆記試験 (リスニングとリーディングを中心に出题する)</td> </tr> <tr> <td>15 週</td> <td>● 筆記試験の返却と解説・まとめ</td> </tr> </tbody> </table>	開講週	内容 [項目] (指示事項)	1 週	● 前期ガイダンス	2 週	● Identity [自分自身]	3 週	● Values [判断の基準]	4 週	● Culture Shock [異文化の体験]	5 週	● Culture in Language [言語は文化を規定するか]	6 週	● Body Language and Customs [ノンバーバル・コミュニケーション]	7 週	● Individualism [個人主義とは]	8 週	● Politeness [礼節とは]	9 週	● Communication Styles [さまざまな自己表現]	10 週	● Gender and Culture [男女の差]	11 週	● Diversity [多様性を認める]	12 週	● Social Change [社会の変化]	13 週	● Global Community [地球市民という発想]	14 週	● 筆記試験 (リスニングとリーディングを中心に出题する)	15 週	● 筆記試験の返却と解説・まとめ
	開講週	内容 [項目] (指示事項)																															
	1 週	● 前期ガイダンス																															
	2 週	● Identity [自分自身]																															
	3 週	● Values [判断の基準]																															
	4 週	● Culture Shock [異文化の体験]																															
	5 週	● Culture in Language [言語は文化を規定するか]																															
	6 週	● Body Language and Customs [ノンバーバル・コミュニケーション]																															
	7 週	● Individualism [個人主義とは]																															
	8 週	● Politeness [礼節とは]																															
	9 週	● Communication Styles [さまざまな自己表現]																															
	10 週	● Gender and Culture [男女の差]																															
	11 週	● Diversity [多様性を認める]																															
	12 週	● Social Change [社会の変化]																															
	13 週	● Global Community [地球市民という発想]																															
14 週	● 筆記試験 (リスニングとリーディングを中心に出题する)																																
15 週	● 筆記試験の返却と解説・まとめ																																
教科書, 教材等	<p>教科書: Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka, and Miyuki Iida. <i>IDENTITY</i>. (Oxford University Press ISBN 0-19-438574-4)</p> <p>辞書はマルチメディア室の Bookshelf が利用できる。</p> <p>なお、準備が出来次第、アルク「ネットアカデミー」を併用の予定。</p>																																
成績評価方法	<p>毎週の演習を 50% (録音予定), 筆記試験を 50% とし, 合計により評価する。筆記試験では持込一切不可。</p>																																
受講上のアドバイス	<p>リスニングとスピーキング中心の授業であるが, 語彙や文法が不要なわけではない。TOEIC のリーディング用の参考書などを利用して各自で学習して欲しい。</p>																																